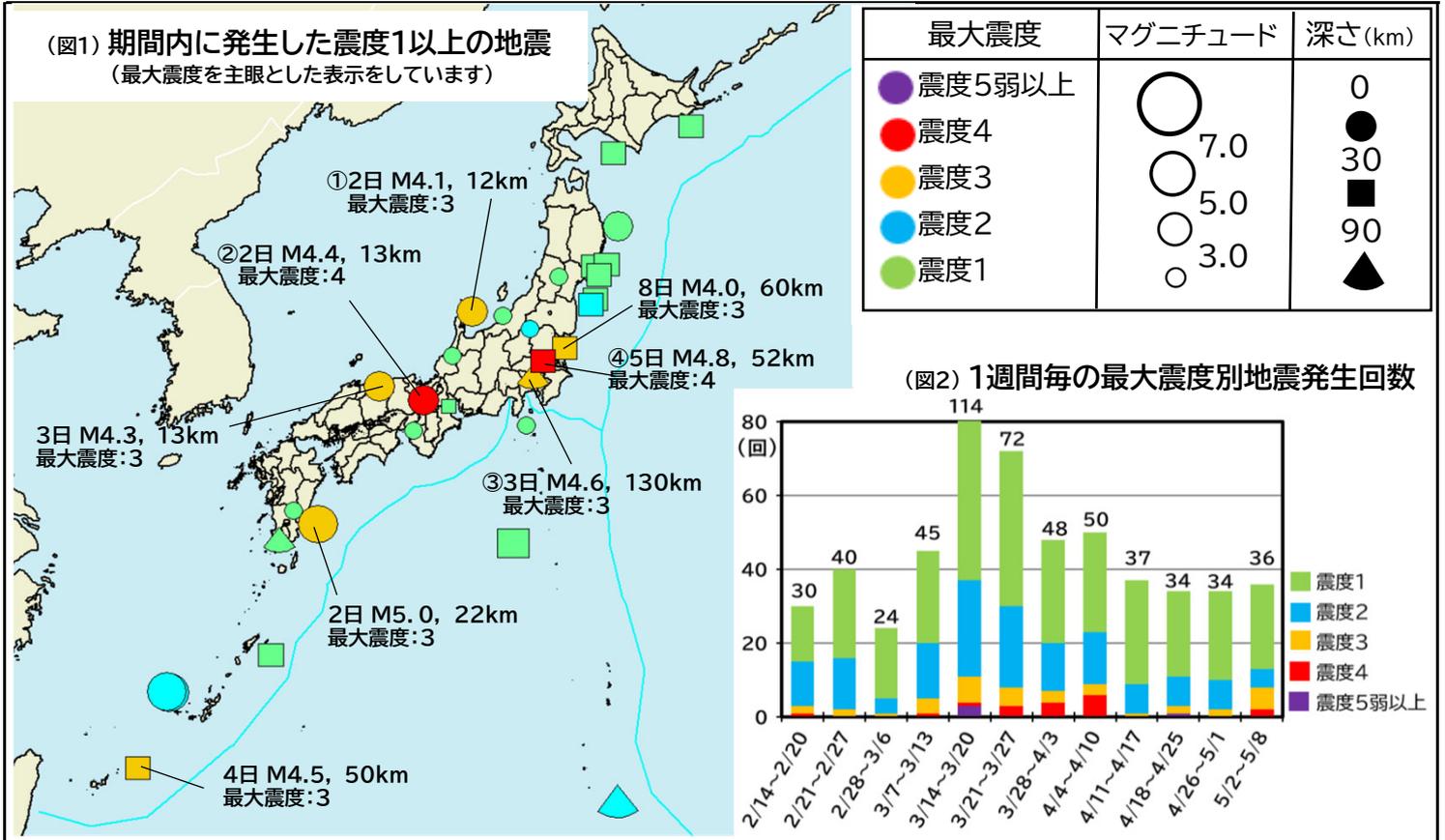


この期間の最大震度は4 震度3以上が8回発生。

本資料は上記期間に国内で発生した震度1以上の地震についてまとめたもの (出典:気象庁震度データベース/地震情報)



主な地震の発生状況 (図1,図2参照)

- この期間、震度1以上の地震が36回発生。最大震度は4で2回発生。震度3以上が8回発生。 ■
- ①2日14時52分に石川県能登地方で発生した地震(M4.1、深さ12km)により、石川県珠洲市で震度3を観測したほか、石川県内で震度2~1を観測。この付近では2020年10月から震度1以上を観測する地震の発生が続いており、今年震度1以上を観測した回数は、最大震度4が4回、震度3が6回、震度2が18回、震度1が25回、合計53回。
- ②2日22時21分に京都府南部で発生した地震(M4.4、深さ13km)により、京都府亀岡市で震度4を観測したほか、中部地方から中国地方にかけて震度3~1を観測 (トピックス参照)。
- ③3日19時39分に東京都多摩東部で発生した地震(M4.6、深さ130km)により、東京都、栃木県、群馬県、神奈川県で震度3を観測したほか、関東地方を中心に福島県から甲信越及び静岡県にかけて震度2~1を観測。この地震は太平洋プレート内で発生した逆断層型。震源が東京都となると首都直下地震との関連が気になるところですが、震源の深さが130kmと深く、想定されている首都直下地震とはタイプが異なり関連のない地震。
- ④5日18時42分頃に茨城県南部で発生した地震(M4.8、深さ約52km)により、茨城県、栃木県及び群馬県で震度4を観測したほか、東北地方から関東甲信越地方にかけてと静岡県で震度3~1を観測。この地震はフィリピン海プレートと太平洋プレートの境界付近で発生した逆断層型。

トピックス

- 京都府南部の地震 ■
- ・京都府南部では、本年3月31日にM4.4の地震(最大震度4)が発生して以降地震活動が活発で、3月31日から5月8日までに震度1以上を観測する地震が13回(震度4:2回、震度3:2回、震度2:2回、震度1:7回)。
- ・一連の地震は亀岡市北部の狭い範囲で発生している(図3)。
- ・この付近の1997年10月以降の活動を見ると、今回の地震近辺(図3の青四角内)ではM4クラスの地震が時々発生している。
- ・1919年以降で最大Mは2001(H13)年8月25日に発生した地震(M5.4、最大震度4)で、負傷者1人の被害が生じた(日本被害地震総覧による)。
- ・近くには、京都西山断層帯という活断層があります。近くに活断層があると言われると、その場所では注意が必要で、その他の場所は安全だと、とらえられえることがありますが、地震大国である日本に住む以上、活断層が近くにあるか否かを問わず、どこにいても地震に対する備えが必要です。

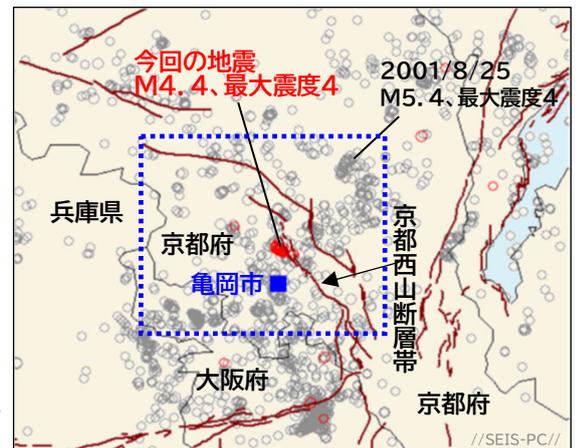


図3:1997年10月以降に発生した地震の震央分布図(M≧2.0)
赤丸:2022年3月1日以降に発生した地震
灰丸:赤色の地震より前に発生した地震
茶色線:主な活断層